

# 2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	キリスト教・同志社科目
-----------	-------------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

キリスト教・同志社科目の実施率は 100%であり、回答率は昨年度春学期より上昇し、85.7%(作年度 82.5%)であった。

昨年度春学期のアンケートと比較し、以下 4 点の特徴が明らかになった。

- (1) 教員の話の理解度、授業方法の工夫、授業内容とシラバスの一致、教員の授業に対する配慮に関する項目は平均値 4.0 を超え、全体的に高い。これは昨年度春学期とほぼ同じ傾向を示している。
- (2) 授業に対する意欲的な取組、授業による知的好奇心の高まり、授業内容の理解、も平均値 3.7 以上であり、昨年春学期とほぼ同じである。ただ、全学のそれぞれの項目の平均値がほぼ 4.0 を超えていることから、全体的には低いことが分かる。これも昨年度とほぼ同じ傾向である。
- (3) キリスト教・同志社科目の学習時間が 0.32 時間(作年度 0.27 時間)であり、全学平均よりも低い。内訳として、0 分が 62.1% (昨年度 65.1%) という結果であった。昨年度の春学期とほぼ同じである。
- (4) DWCLA10 の選択率に関しても、思考力が全体の 54.6%であり(昨年度 55.3%)、最も高い比率であり、次に創造力 28.8% (作年度 21.3%) 思いやる力が全体の 22.4%(昨年度 24.3%)が続いている。

全学の科目の平均値と比べると本科目が全体としては、やや低い傾向が見られる。キリスト教・同志社科目は、他の科目と性格を異にしている。本科目は、本学の教育理念の一つである「キリスト教主義」を担っている。今後、更にこの科目が充実するように期待したい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。